

小さな事故とあなどるな!



当市での、今年に入ってから交通死亡者数は七人と人口比で見ると、県内最悪となっています。このため市では、八月に「交通死亡事故多発警報」を発令して、ドライバーや歩行者の皆さんへ注意を呼びかけています。

交通事故撲滅を誓おう

交通安全市民大会

秋の交通安全運動期間中の九月二十三日、長木川市民ひろばで「交通安全市民大会」が行われました。当日は交通安全をかきこくコンクールやゲームを使ったの衝突実験など多彩な行事が展開されました。参加者を代表して、警察官の制服を着たチビッコや老人クラブ員などが交通安全の誓いのことをのべ、交通事故撲滅を誓いました。



▲交通安全を誓ったチビッコ警察官



▲有浦小が優勝した自転車競技大会



▲今年から行われたかかしコンクール

今回は、市内で発生した事故の例をお知らせしますので、くれぐれも事故を起こさず、事故に遭わないよう注意しましょう。

例1 歩行者を巻き込んだ事故

進行中の車が、路上に止めている車の陰から飛び出してきた子供をはねとばしました。子供は幸い軽傷でした。

▽事故を防ぐには……

この事故の場合、最大の原因となつたのは路上に駐車している車と言えましょう。市内の道路は、ほとんど駐車禁止となっています。きめられた駐車場へ駐車するようにしましょう。また、子供たちは横断歩道では左右を確認しているようですが、一般道路を万が一横断しなければならぬときは、

あまり左右を確認していないようです。各家庭で安全を確認するように話し合いをしましょう。このようなケースは、子供だけでなく老人や婦人の方たちにも多く発生しています。

もし、走行中の車がスピードを出していたらと考えるとゾッとします。

例2 自転車を巻き込んだ事故

午後七時ごろ無灯火で細い道路から大通りへ出ようとした自転車が一時停止しないで走行、車にはねられました。

▽事故を防ぐには……

事故はどんなところでも起こります。自転車であっても交通ルールを守ってください。夜間はライトを必ずつけましょう。このこと

により前方を確認することと自転車が走行していることを車に知らせることになります。

今までの、このような状況で事故にあわなかった方がいたとしても、それはたまたま車がかつたため、事故に遭う危険性は高いのです。市内でも、同様のケースで死亡事故が発生しています。

例3 バイクによる事故

スピードを出しすぎたバイクが、カーブを曲がりきれずに路外へ転落し、運転手は重傷を負いました。

▽事故を防ぐには……

スピードを出しすぎるとハンドル操作がむずかしくなり、バイクの構造上スピードを出すと右カーブのときは左の路外へ、左カーブのときは反対車線へとられるよ

例4 車と車の追突事故

車が走行中、前方の歩行者に気づき停車したところ、後方の車から追突されました。

▽事故を防ぐには……

車を運転する場合は、十分に車間距離をとるようにし、前の車の動きをきちんと見ることが大切です。また、後の車には、バックミラーを使って車間距離の確認をし、停止するときは、ブレーキを数回ふみ知らせることも大切です。

もし事故が発生したら

もし、事故が発生したら、事故の大小にかかわらず一〇番しましょう。車を運転中に歩行者と接触したとき、相手は大丈夫だろうと、勝手にその場を立ち去ると、ひき逃げ事件として三年以下の懲役または罰金二十万円以下の行政処分が科せられます。また、事故を警察に知らせなかった場合には不申告として罰金五万円以下の行政処分が科せられますので十分に注意しましょう。

ドライバーも歩行者も、一人ひとりが交通マナーを守り、交通事故のない街にするよう心がけましょう。

犬の登録と予防注射はお済みですか

犬の登録をしていない方は保健センターへ。また、予防注射はつぎの市内獣医療院でうけてください。若松獣医療院 (☎43-4256) 小笠原犬猫病院 (☎42-2733) 大館ペット病院 (49-0055)